



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

87

2013年10月21日発行
(平成25年)

●あなたと議会のかけ橋に



天草西海岸陶芸まつり

秋の紫元めぐり



町花「はまゆう」



【主な内容】

- 臨時会 2
- 定例会 3~7
- 特別委員会 8~9
- 一般質問 10~14
- 傍聴記 15

※ご一読後保存をお願いします。

議会の主な動き

平成25年7月~10月

7月

- 5日(金) 議員全体会議
・ 議会に提出されている誓約書への今後の対応について
- 17日(水) 平成25年第19回苓北町議会臨時会
全員協議会
- 31日(水) 熊本県町村議会議長会理事会(熊本市)

8月

- 5日(月) 熊本県町村議会議長会正・副議長
研修会(熊本市)
- 19日(月) 天草広域連合議会運営委員会(天草市)
- 23日(金) 議会運営委員会
- 26日(月) 天草広域連合議会定例会(天草市)
- 27日(火) 熊本県町村議会議長会常任委員長・
議会運営委員長研修会(熊本市)
- 29日(木) 天草地域国県道路整備促進期成会
総会(上天草市)
天草広域連合議会全員協議会(天草市)

9月

- 5日(木) 平成25年第20回苓北町議会定例会
~6日(金) 一般質問・議案審議
- 5日(木) 全員協議会

9月

- 9日(月) 決算審査特別委員会
~11日(水)
- 11日(水) 各常任委員会
・ 所管事務についての調査検討
議員全体会
・ 視察研修先についての検討
・ 現地調査(広域避難地他工事実施現場)
- 12日(木) 平成25年第20回苓北町議会定例会
- 14日(土) 第68回熊本県民体育祭(天草郡市)
~15日(日)
- 21日(土) 第4回関西天草郷友会交流会(上天草市)
- 27日(金) 建設経済常任委員会
・ 所管事務についての現地視察調査
- 30日(月) 熊本県町村議会議長会理事・
~10月1日(火) 郡事務局長合同会議(玉東町)

10月

- 2日(水) 総務常任委員会
・ 付託されている陳情の審議
- 7日(月) 天草広域連合議会先進地研修
(人吉市)
- 20日(日) 天草・出水県際交流促進協議会
バレーボール大会(天草市)

議会広報特別委員会 9月12日・24日 10月2日・8日・11日

議事録は

『苓北町役場ホームページ』

http://www.reihoku-kumamoto.jp/outline/gikai_v1.htm

で閲覧できます。

次の定例会は

12月

です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
(9月定例会の傍聴者は51名でした。)
臨時会は不定期に開かれます。

編集後記

例年にも増して暑い夏というより酷暑の夏が去り、一気に秋が来たようです。各地の体育祭も盛大に開催され、私たち議員もほっと一息です。ところで、皆さん中秋の名月ご覧になりましたか。私は中秋の名月は満月だっと思っていました。実は満月の方が少ないって初めて知りました。今年は、たまたま満月でしたが、来年以降はしばらく「少し欠けた名月」が続くそうです。次に満月と重なるのは、八年後。先日素晴らしいプレゼンで引き寄せました、次の東京オリンピック開催の次の年という事です。お月見といえば、十五夜だけではなく、十三夜もあります。十三夜は、拜むと成功や金運に恵まれるそうですよ。お月見は二回するのがいいんだそうで、どちらかしか見ないのは「片見月」といわれ縁起が悪いんだとか、今年見れなかった方、来年忘れずに覚えておいて下さい。

議会広報特別委員会

第19回臨時会

7月17日(水)

提案された議案は以下のとおり。

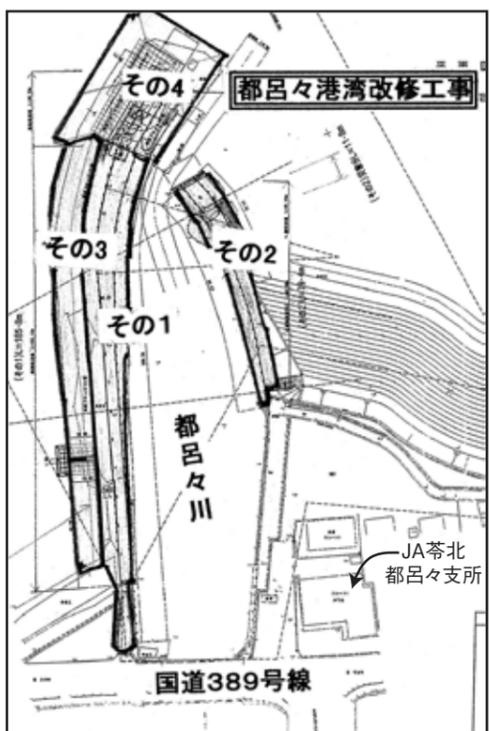
- 議案第183号(原案可決)
 - 請負契約「志岐漁港海岸保全施設整備工事」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 68,670千円
 - 双川建設株式会社
- 議案第184号(原案可決)
 - 請負契約「志岐漁港臨港道路整備工事」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 103,110千円
 - 株式会社横山建設

- 議案第185号(原案可決)
 - 請負契約「都呂々港湾改修工事(その1)」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 212,940千円
 - 前川建設株式会社

- 議案第186号(原案可決)
 - 請負契約「都呂々港湾改修工事(その2)」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 58,590千円
 - 株式会社長濱興業

- 議案第187号(原案可決)
 - 請負契約「都呂々港湾改修工事(その3)」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 111,058.5千円
 - 株式会社レイジユウ

- 議案第188号(原案可決)
 - 請負契約「都呂々港湾改修工事(その4)」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 85,365千円
 - 株式会社横山建設



- 議案第190号(原案可決)
 - 平成25年度一般会計補正予算(第3号)
 - 歳入歳出それぞれ、92,400千円追加し、総額4,597,313千円とする。
 - 歳入の主なもの
 - 町債132,400千円
 - 繰入金△40,000千円
 - 歳出の主なもの
 - 消防費91,400千円



- 議案第189号(原案可決)
 - 請負契約「志岐小学校屋内運動場改築工事」の締結について
 - 指名競争入札
 - 契約金額 277,725千円
 - 吉永・前川特定建設工事共同企業体



志岐小学校屋内運動場完成予想図

第20回定例会

9月5日(木) (1日目)

9月6日(金) (2日目)

報告第27号

- 例月現金出納検査の結果報告について(平成24年度5月分、平成25年度5月6月7月分)

- 苓北町条例の一部を改正する条例について

議案第192号(原案可決)

- 苓北町健康保険税条例の一部を改正する条例について

議案第193号(原案可決)

- 苓北町立小・中学校設置条例の一部を改正する条例について

議案第194号(原案可決)

- 苓北町地域の元気基金設置条例の制定について

議案第195号(原案可決)

- 平成25年度苓北町一般会計補正予算(第4号)
- 修正動議提出

修正案の内容

今回提案された補正額、4億2千520万1千円の内、

消防費・防災対策費の5千434万7千円の内、自主防災組織に係る116万8千円を除いた5千317万9千円を減額する。

削減額の財源内訳は、地方債4千790万円を0円に、一般財源594万7千円を、66万8千円にする。支出は、委託料1千340万円、財産購入1千477万9千円、住宅移転補償2千500万円を、いずれも0円にする。

修正動議の理由

一 活性化広場の改修

(一) この広場は、子供たちの安全な遊び場として、家族ぐるみで利用され、成人のグラウンドゴルフ場としても利用されている。

(二) 夕日や、苓北町の景色の眺望にすぐれ、また、温泉センターの横に立地し、町民の癒しの場として活用されている。

(三) これらの利活用の現状を見た場合、これを失くし、新たな施設の建設は、今の施設に投入された税金が無駄になり、新たな施設の起債「町

の借金」の償還、維持管理等経費の負担が出てきて、今後の世代へ負の遺産を残す恐れがある。

二 サッカー場建設には、何の目的があるのか。

(一) サッカー場建設検討委員会に、オブザーバーとして参加したが、その時の講師の話では、スタンド、控室、トレーニングルームなどが必要で、約20数億円、と話された。(二) 今回の建設計画で、収支の計算はどのように考えているのか、試算しているのか、どのようなイベントや大会を計画しているのか、具体的計画が示されていない。

原案に賛成

賛成者Ⅰ

平成23年8月、東日本大震災の教訓をふまえ、地域の防災拠点として施設整備をした中で、苓北町にサッカー場を整備することで交流人口の増大、地域経済の活性化、用地や財源効果等を総合的に検討する委員会が設置された。委員会では先進地の中津江村、大津町等の視察研修を行い、

町長に答申している。まず、計画地は災害時の仮設住宅地として地盤が強固な高台であること、また現有施設との効率化を図るため運動施設が集中している志岐一帯

であることを掲げ、次に整備費及び維持管理費等の経費は有利な補助金等を活用し利用者役務の提供等一般財源が多額にならぬよう努めることを掲げている。坂瀬川グラウンド・九電サッカー場はグラウンドゴルフやサッカー等、町内外の利用者が増加している。答申から約2年が経過し、起債時期が今提出しなければ確保できない提案があり、原案修正の必要はない。よって原案に賛成する。

賛成者Ⅱ

活性化対策特別委員会を設立し、8回に亘り協議を重ね、陳情者及び町から意見を聴取し、町から建設予定地図面が提示され説明があった。維持管理・交流人口を含め、費用対効果や財政面で厳しいのではとの意見もあったが、サッカー場を建設し交流人口

を増加させ、活性化につなげ、経済効果も期待できるとの意見もあり、採択した経緯もある。

また、苓北町サッカー場等建設検討委員会を設立され、答申されている。議会からも、3名がその委員となっている。その中の計画地は、地域の防災拠点(災害時の仮設住宅用地)となる地盤が強固な高台・志岐地区一帯への整備が望ましい・町有地または、用地取得費が有利な補助金等の活用や利用者の役務提供など、町の一般財源が多額とならないよう財源確保、態勢の整備を行うこと。とされている。

原案に反対(修正案に賛成)

反対者Ⅰ

この件はあくまでも防災施設の対策であり、私達も冷静に判断しなければなりません。説明によると、平成25年度(26年度までの対応でない)と後ができない可能性がある。それも9月いっぱいにし

なければならぬ。このこと。この件につきましてもは苓北町に考えられる避難場所、避難施設が他にどうしても不足するならば提案されたように私も原案に賛成しなければなりません。今ある町内の現存施設を眺めてみますとまだまだ有効活用されるべき施設があると考えます。

ですからこの期限は9月いっぱいまで押し切られるのではなくて、もともと慎重に検討を重ねていく価値が十分にあると考えます。

苓北町が（石炭灰を数千トン活用する）事業を取り組んでいかなければならない、そういった側面の事情も分かれます。今回の防災施設の補正予算対応についてはこの部分の原案を修正する案に賛成いたします。

反対者Ⅱ

第1回苓北町サッカー場等建設検討委員会、J1・J2のキャンブ地として説明があった際、1チーム総勢50名程度の宿泊施設や雨天練習場など、約20〜30億円程度の施設

設が必要とのことであった。しかし、避難所を兼ねたサッカー場を造るとなると、観客席・宿泊施設・雨天練習場などの構造物は造ることができず、更地の上に、人工芝・天然芝が植えられたサッカー場ということになり、当初の計画から大きくかけ離れ、果たしてJ1・J2のチームが毎年のようにキャンブに来るのか疑問である。たとえ、大学生・高校生が夏休みなどにキャンブをして利用したとしても、年間維持費など費用対効果がどれだけあるのか？また、今回2軒の方が長年住んでこられた家や土地を譲り受ける計画だが、まだ1面のサッカー場か2面になるのか決まってもいないのに、今の場所に造らなければならぬのか？疑問であり、まだ計画の見直しと検討の余地があると思われる。

反対者Ⅲ

今日提出されております補正予算は災害対策費なんですね。それですからサッカー場とは全く関係ないと考えてお

「発注者は、受注者がその使用に関して要した費用を負担しなければならぬ。」と明示されており、後で気づいた場合であっても発注者の負担とすべきであり、この支出については妥当であると判断した。

○避難施設本体に取り付けられた筋交いについて

津波が発生した際、構造物内の筋交いに漂流物が引っ掛かる可能性が極めて高くなることは、当初の段階でも予想できたことから、議会でも指摘があったように「火打ち板構造」を採用すべきであったと思われる。

○工事施工管理の随意契約について

施工管理業務を設計業者に委託した方が、内容等について十分把握しており有利に契約できるとして、田中設計事務所1社のみを見積もりとしている。地方自治法施工第167条の第1項第7号の解釈で、「時価に比べて著しく有利な価

ります。災害対策に対しましては当初申し上げましたとおり津波が来ても波の高さは4m位であると、それですから避難するにはたくさん土地がそれぞれありますし、家が流されたというようなそういう風な災害があると町長からも答弁がありましたけれども歴史的に本当にあったのかどうか。そういったことが納得できれば私も賛成をしたいと思えますけれども今日この件はあくまでも災害対策費の提案でございまして私は修正案に賛成を申し上げます。

※議論後賛成7・反対4で原案可決



苓北町活性化広場

格で契約を締結できる」とは、安く契約できると解すべきであり、複数の見積書を徴して契約すべきであったと判断した。

②紺屋町地区避難所設置工事について

○工事施工における条件変更の考え方について
今回の工事変更は、数量の増減の部分と施工方法の変更による数量の変更である。「当初の設計がまずかった。」として、全額町が負担しているが、請負業者はその方法で工事を施工することの認識を持っていたと思われるので、「落札し契約したのだから、業者は責任を持つて、その額ですべきではないか。」と道義的責任を問う意見が出される。併せて、当初の設計書に関する確認等が十分であったこと、担当課長による議会での説明が十分であったことを指摘せざるを得ない。

従って、この工事変更に関する

議案第196号(原案可決)
平成25年度苓北町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議案第197号(原案可決)
平成25年度苓北町介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第198号(原案可決)
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第199号(原案可決)
平成25年度苓北町水道特別会計補正予算(第2号)

議案第200号(原案可決)
平成25年度苓北町特定地域排水特別会計補正予算(第2号)

議案第201号(原案可決)
平成25年度苓北町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)

議案第202号(原案可決)
平成25年度苓北町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)

議案第203号(原案可決)
平成25年度苓北町宅地造成事業特別会計補正予算

議案第204号(原案可決)
請負契約「都呂々漁港浮体式係船岸設置工事」の締結について

報告第28号
● 随時監査の結果報告について

①明神山区避難所設置工事について
○ 特許料について
インターネットで津波避難施設を検索し、写真が掲載されていた和歌山県江南市に連絡を入れ、その資料を参考にして設計したが、その時点ではフジワラ産業の特許権のことは知らなかった。その後、フジワラ産業の営業社員が来町され、「各地で模造品が造られており困っている。当社の特許(意匠権)を侵害している」との話があった。そこで、設計者等と協議を行い特許料を支払うこととした。と町からの経過説明を受けた。

特許権の使用については、田中設計事務所(株)・フジワラ産業・苓北町の三者による確認書が作成されており、特許料の費用負担への対応については、苓北町工事請負契約約款第8条に

認定第26号
平成24年度苓北町介護保険

認定第27号
平成24年度苓北町後期高齢者医療

認定第28号
平成24年度苓北町水道

認定第29号
平成24年度苓北町下水道

認定第30号
平成24年度苓北町農業集落排水

認定第31号
平成24年度苓北町宅地造成事業

認定第32号
※認定第22号から認定第32号までは9月9日(月)〜11日(水)の決算審査特別委員会に付託して審査することにした。

報告第29号
平成24年度決算の認定における健全化判断比率等について

報告第30号
● 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告について

③職員研修の充実についての提案

工事を実施する上では、周囲への配慮や安全の確保を含め工事発注者としての責任も問われることになることから、慎重な対応が求められることは言うまでもない。今回の監査において、工事担当者にはそれなりの知識や経験が必要であること。また、工事を担当する部署での集中的な工事実施の必要性を強く感じました。今後においては、職員それぞれの段階に応じた各種研修等を公費負担で受講させ、専門的な知識の習得と技術者育成に取り組みられるよう要望した。

- 認定第22号 平成24年度苓北町一般会計
- 認定第23号 平成24年度苓北町坂瀬川財産区
- 認定第24号 平成24年度苓北町都呂々財産区
- 認定第25号 平成24年度苓北町国民健康保険

平成24年度の決算の状況

○ 一般会計 (単位：円)

歳入		歳出	
町税	1,833,163,722	議会費	75,744,158
分担金及び負担金	60,969,410	総務費	834,208,431
使用料及び手数料	50,707,635	民生費	1,315,750,253
財産収入	33,167,431	衛生費	610,908,791
寄付金	1,716,570	農林水産費	291,680,662
諸収入	60,691,105	商工費	104,552,574
その他の収入	368,232,504	土木費	195,911,890
地方交付金	1,292,799,093	消防費	479,317,554
国庫支出金	372,142,506	教育費	331,053,704
県支出金	300,284,158	災害復旧費	26,573,022
町債	667,292,000	公債費	591,900,589
合計	5,041,166,134	諸支出費	0
		予備費	0
		合計	4,857,601,628
歳入歳出差引額	183,564,506		

○ 各特別会計 (単位：円)

会計名	歳入合計	歳出合計	歳入歳出差引額
水道	300,103,377	284,761,191	15,342,186
下水道	315,103,621	313,408,910	1,694,711
国民健康保険	1,248,259,142	1,230,275,547	17,983,595
坂瀬川財産区	15,686,421	28,340	15,658,081
都呂々財産区	39,762,060	573,220	39,188,840
農業集落排水	16,944,514	16,722,957	221,557
特定地域生活排水	42,612,042	42,406,473	205,569
介護保険	836,903,589	824,841,338	12,062,251
後期高齢者医療	110,007,542	109,279,346	728,196
宅地造成	8,297,224	7,629,800	667,424
合計	2,933,679,532	2,829,927,122	103,752,410

第20回 定例会・3日目

9月12日(木)

- 認定第22号 平成24年度茶北町一般会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第23号 平成24年度坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第24号 平成24年度都呂々財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第25号 平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第26号 平成24年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第27号 平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第28号 平成24年度水道特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第29号 平成24年度下水道特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第30号 平成24年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第31号 平成24年度特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)
- 認定第32号 平成24年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について (認定)

決算審査特別委員会からの要望事項

- 1・一般会計
 - 歳入について
 - ①国保税の滞納処理については、引き続き努力されたい。
 - 歳出について
 - ①地域資源有効活用調査については、現調査

項目に加えて構造物の経年劣化等の調査をされたい。

○その他の要望事項

- ①高齢化社会の到来に向けて、自主防災組織の組織化にさらに取り組まされたい。
- ②中学校統合後の坂中・都中の学校施設の活用について検討されたい。
- ③町民総合センターの利用促進について、町内で結婚式が行われることの経済的波及効果も含めて検討されたい。併せて、町民の意識・意向についても調査し検討されたい。

2・国民健康保険特別会計

- ①国保税の滞納処理については、引き続き努力されたい。

3・介護保険特別会計

- ①保険料の滞納処理については、引き続き努力されたい。

4・後期高齢者医療特別会計

- ①保険料の滞納処理については、引き続き努力されたい。

同意第14・15・16号(同意)

・教育委員会委員の任命について

- 志岐 坂西 力さん
- 坂瀬川 吉田 修一さん
- 志岐 芦塚 博昭さん

・陳情等文書表について(議員配布)

陳情第30号

国に対し「消費税増税中止を求めめる意見書」の提出を求める陳情

委員会付託

陳情等文書表

受理年月日	番号	件名	提出者住所氏名	取扱方法
H25 6/20	陳情第27号	日本政府に対して「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書の提出のお願い	熊本市中央区神水1丁目14-41 2013原水爆禁止国民平和実行委員会 代表委員 中島絹子 ほか	議員配布
H25 7/29	陳情第28号	平成25年度及び平成26年度理科教育設備整備等に関する要望書	全国小学校理科研究協議会 会長 永田 学 ほか	
H25 8/13	陳情第29号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書の採択」に関する陳情について	新潟県村上市三之町1-1 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳	

陳情第31号 発議第8号 道州制導入に反対する意見書の提出について (採択)

発議第9号 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界文化遺産への推薦決定に関する意見書の提出について (採択)

・閉会中の継続審査調査の件
・議員派遣の件



野崎 幸洋 議員

◎坂瀬川地区総合グラウンド 周辺整備について

問 グラウンド利用者から、日蔭が少ないため建物の狭い影で休憩をしているとの話を聞く。熱中症対策のための整備（植樹）等の予定はあるのか。

②熱中症対策の整備について

町長 今後の駐車場整備については、さらに大きな大会の開催や合宿等の誘致など、当グラウンドの利用見通しを想定しながら、頻繁に不足する事態が見込まれる場合においては、新たな駐車場の確保について検討していく。

問 大きな大会が開催されると、駐車場が足りず路上駐車が多く見受けられ、近隣の住民からは通行に支障をきたしているとの苦情を聞く。今後グラウンド周辺に駐車場を新設する必要があると思うが、現在そのような考えはないのか？

①グラウンド駐車場について

町長 大きな大会が開催されると、駐車場が足りず路上駐車が多く見受けられ、近隣の住民からは通行に支障をきたしているとの苦情を聞く。今後グラウンド周辺に駐車場を新設する必要があると思うが、現在そのような考えはないのか？

④ナイター照明について

問 グラウンドを天然芝生化する際にソフトボール用のバックネットの向きを変更されたが、ナイター照明の向きはそのままになって

町長 冬場における夏芝の育成保護のための保護砂の代用としても効果があるため、今後は、冬場の大会開催や合宿誘致も含め、当グラウンドの利用状況を見た上で、判断していく。

③冬芝の試植について

町長 日蔭対策については、本年度予算の中で、秋口にグラウンド拡張前に植えられていた記念樹の移設、植栽と、観覧席うえの公園等を含めた整備計画を検討していくことにしている。

⑤グラウンド下の備蓄倉庫について

町長 観覧席うえの公園を含めた周辺整備等の概略設計の中で、改善計画を行う予定にしている。

町長 平成25年1月に募集があった「過疎集落等自立再生緊急対策事業」で整備すべく応募をした。

しかし、熊本県に10億円の配分があったが、残念ながら3月14日不採択の通知があった。今後は、他の避難所も含めて12月補正予算をお願いし、順次、整備をしたいと考えている。



坂瀬川グラウンド下の備蓄倉庫



錦戸 久幸 議員

石炭灰行政の展望と課題

町は昨年九州電力の3万株を取得し初めての株主総会を迎えた。

今年の株主総会に向けての町の方針は何だったの？

問 これまでに、今後への提言として次のことを申し上げてきました。「ACⅡを使う公共事業費も限界がある中で、ACⅡの供給先の確保は苓北町石炭灰行政の大きな課題となっている。一方で進出企業の安定稼働を確保してやる必要がある。それには安定的に供給できる用地の確保が欠かせません。幸いに、九州電力の灰捨場に広大な広場ができた。ここで計画的にACⅡを一段ずつ平積みし立体化できるようにしたらどうか？」

それともう一つ、先の東日本大震災で津波被害が大きかったことを考えると、この発電所一帯は三面が天草洋に面していて、一番に津波被害を受けることになると思われる。県下の大半の電力をまかなうこの発電所を守るために長大な堤防も必要ではないか。これらが実現すると安定したACⅡの供給先が確保される。

「ACⅡを使う公共事業費も限界がある中で、ACⅡの供給先の確保は苓北町石炭灰行政の大きな課題となっている。一方で進出企業の安定稼働を確保してやる必要がある。それには安定的に供給できる用地の確保が欠かせません。幸いに、九州電力の灰捨場に広大な広場ができた。ここで計画的にACⅡを一段ずつ平積みし立体化できるようにしたらどうか？」

しておりました。今年の九州電力の株主総会は6月26日福岡市で行われ、今回初めての株主総会でしたので九州電力の経営の姿勢を見守るため、特に今回は発言をしなければならぬ様子を含め、副町長と企画政策課長に出席してもらいました。

防災ゾーン造成工事

問 防災ゾーン造成工事

を二工区に分けた身障者用二次避難所が上津深江地区に造成中。一工区は5、134万5千円、使用するACⅡは7千トン。二工区は1億1、109万円、使用するACⅡは7万トンとの説明。計画された出来形で行進中と理解してよろしいか。

町長 8月31日現在で、一工区の進捗率が30%で10%位遅れ、二工区については進捗率が38%とほぼ計画通り進んでいます。

二次避難所整備はどこまで必要？

問 町は健常者用の仮設住宅用地確保のためと称し、武道館裏の広い公園を潰して二次避難所を造るとし、「この9月議会で補正予算を計上している。」とのことだが、新たに造らなくても各地区にある広場や町の施設を活用することで十分間に合うのではないか。

平成27年度から三中学校統合で坂中・都中の校舎・体育館・グラウンドの活用も加えるべきでは？

また、宅地販売をしている財の尾には25区画の内11区画約3、125㎡、金額で4、172万円分売れずに残っている。いざという時にはここだけでも仮設住宅70戸分位は確保される。活用計画に組み入れるべきと思うが？

町長 現在のおおまかな避難者は1、300人を想定し、それに伴い仮設住宅は約500戸必要となる。現在の25m以上の町有地

は、坂瀬川グラウンド、旧木場小グラウンド、整備中の防災ゾーンがあり、そこに325戸建築可能で、今回提案の二次避難所を整備すると460戸分が可能。



苓北町活性化広場

両校の跡地利用については平成26年度を目途に跡地利用検討委員会で協議予定。財の尾の住宅用地については引き続き人口が増加しますように定住促進に努力したい。空いていけば利用したい。

要望 この避難所にも数千トンのACⅡを使う予定とのこと。構造強度の安全確認とACⅡの安定供給先の確保がない中で使用することが目的化しないようお願いしたい。



神崎公顕 議員

町道の舗装工事早期実施を 努めますから、実施しますへ

問 上津深江椎葉線は、町村合併と同時に町道として認定されたことは、いかに当時から町にとっても上津深江にとっても重要な路線であったか分かります。広域農道より上津深江側は志岐財産区有山林で、上津深江各区分は終戦後直ちに分収林契約を締結し、松・杉・檜を植栽、管理等になってはならない作業道路でありました。また、今日では上津深江ダムへ行く幹線道路でもあります。総延長3,042m、うち1,732mは舗装が完了しており、管理は年2回の藪払いも実施されており、しかし、残り1,310mが無舗装で、側溝もないことから荒廃が進み人も車も通行できません。町の実施計画書では平成24年度から26年度まで毎年僅かですが延長100mずつしかりと計上してあります。振興計画とは、ふるいおこして物を盛んにすることであり、

実施計画とは、実際に施行することです。この件については、平成23年9月議会においても舗装が無理なら重機を持って通行だけでもできるようお願いをし、実施していただきました。この時の回答は、既に振興計画に搭載済みであり計画に基づき実施するよう「努めます」との答弁でありました。至って便利な曖昧語で、この言葉で納得し良しました。町は、振興計画を立てたならこれを遵守する基本姿勢で事に当たる態度が必要であり、物事がそれに基づいて成り立つ根本が求められます。区民の方々は期待をしてきたが、何らこれまで努めた形式は未だ見あたりません。何故計画したものが実施できないのか、町長は「努めます」など議会答弁で好んで使われる言葉や言い回しで頻繁に意気込みを見せられるが、過疎化が進みつつある小さな集落の声にはまだまだ手が届いてなく、実は上がっていない。今回の舗装についても答弁では10年くらいかけて実施するよう努めたいとなっていた。

も推薦決定に積極的な協力をすべき。理由の一つ、本町の関連遺産の検証に弾みがつく。ふたつには、長崎市から天草への入口として苓北富岡港の優先度は高い。この機会をとらえ、富岡港、茂木港の整備と大型高速フェリーの就航を、国、県に働きかけたらどうか。

町長 この航路は、生活航路、交流人口の拡大航路として大切な航路。世界遺産登録が決定されると大変素晴らしい事。これが有る無しにかかわらずしっかりと航路運営を維持出来る様知恵を出していきたい。

五防対策 (一) 町内各種指定地域の種類と個所数。現状と今後の対策及び具体的な取り組み

質 急傾斜地域、砂防地帯等その他の危険個所の種類別個所数は。緊急度によるランク付けは。今後どのような具体策で対処するか。

町長 急傾斜崩壊危険個所、19カ所。土石流危険箇所、8カ所。戸数5戸以上について県が優先順位を検討し整備を進めている。危険



町道椎葉線の現況



浜口雅英 議員

一 協働による町づくりに

(一) クリーン作戦の在り方

質 25年7月現在の高齢化率は34・3%。このような中で、年を取られ作業が困難になられたにもかかわらず作業形態は変わっていない。その地域の年齢構成を勘案した取り組みをすべき。

町長 高齢化が進んでおり、今後、各方面で知恵を出し合い、検討を重ね、町づくりを進めていかなければならない。現在、それぞれの行政区の主導により取り組んでもらっているのですが、この事を大事にしていきたい。

二 町民生活における問題、課題の提起とこれの解決

(一) 行政通信の在り方

質 町民の生活に密着した不安、不便等の課題は、行政通信、議員からの要望に対し、なるべく早く返答するようにしているという事だが、今もその方針か。

町長 従来からその様にしている。今年、また、庁内で再確認した。さらに、出来るものには、実施時期も明記するようにした。

三 高齢化社会における交通の確保

(一) 取り組みの状況

質 中学校の統合が具体化している中で、独居老人世帯、老々所帯の交通の便として、スクールバスの運行を工夫出来ないかという質問に対し、交通検討委員会で課題を模索している。やる方向で9月までに結論を出すという事だったがその結果は。

町長 地域交通見直し計画は平成25年から始めた。25年度は、温泉行きを坂瀬川からの運行を始めた。平成26年度は、27年4月からの中学校統合によるバス導入による坂瀬川、都呂々地区の一般乗客との混乗計画を作成し、27年4月から利用開始する。バスの購入が出来次第早く始めたい。

(二) 四道路網、交通網の整備

(一) 道路現状調査の結果は

質 町民の適切な日常生活と災害対策のひとつとして町内全域の道路網の現況を総点検すべきと提起し

2 富岡・茂木航路の充実

質 長崎教会群とキリスト教関連遺産として天草津集落が世界文化遺産の推薦候補に選ばれた。苓北町

た。24年度緊急経済対策事業で、路面正常化調査を行い、路面のひび割れ、陥没の総点検をするという事であったがその結果は。

町長 調査の完了は12月末。調査結果が出たらその結果を踏まえ、具体的な検討をして行く。

(二) 交通網整備の今後

1 町道改良

質 町道の拡幅、路肩強化交通安全施設の整備を要する路線は複数あると思うが、そのうち二つの路線の改良を提起する。

一つ、萱の木線。終点には民家。道幅が狭い。急こう配。北側は急峻。

二つ、上鳥越線。終点部民家多数。集落のお年寄りの買い物、通院。児童生徒の通学路。

町長 萱の木線支線の離合箇所は前から検討していた。用地のお願いをし検討したい。上鳥越線は一部急な坂があり見通しが悪い。検討して参る。

ところが25年度着工も期待薄のようです。これから年末に向けて予算編成作業がスタートする。総務課の査定で絞り込まれていくと思いますが優先順位を見極めてほしい。地元からの期待からすると振興計画の遵守、確認という公務員の仕事の基本をないがしろにしていると言わざるを得ません。毎年再編する振興計画実施計画書の位置づけをどのように考えますか。現実的に26年度予算に骨子を決め込み工程表を盛り込んだ今後の取り組みについて説明を求めます。

(二) 県の土砂災害防止法に基づく現地調査について

質 県により土砂災害防止法に基づく現地調査が実施されるとのこと。この調査は、従前の危険指定地域を補完するものか別個の調査か。調査の結果次第では、国の防災減債対策事業の対象に成るのか。

町長 土砂災害特別警戒区域、警戒区域を指定するための調査。危険性のある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備や、新規住宅等の立地抑制等のソフト対策の充実。補完し合う対策とも言える。国の対象事業となるものではない。

六 24年度補正予算事業の進捗

質 24年度一般会計予算で20億3千万円の補正が議決された。その進捗状況は。

町長 未発注が志岐中央線側溝工事。舗装事業5路線。志岐ダム付帯設備更新。大円地区排水路整備。10月までは発注予定。他の事業は、3月までには終わる様順調に進んでいる。

傍聴記



石田 進一郎さん
(都呂々)

天草に
来て二度目
の傍聴です。
今回は消費
税増税中止
を求める意
見書を提出
しました。

した後の町議会で全議員に配布したと通知
参加しました。総務常任委員会に付託と
なりました。私は昨年9月、年金者組合
苓北支部を結成し支部長として「最低保
障年金制度の創設」「年金2・5%削減法
案」を廃止とする陳情書を昨年11月、田
嶋町長、倉田議長に提出してきました。

12月の町議会で全議員に配布したと通知
があり年金問題にも関心を持って頂けれ
ばと思っています。私達の年代(70代)は
幼少からは「天皇のために」社会人になっ
ては「企業のために」働き、定年になって
ようやく「自分のために」がかなう様
になった今、年金2・5%も引き下げるとは、
今全国で65歳以上の高齢者は全人口の23
%約3,000万人、苓北町では人口の34
%2,730人と報告されましたが、多く
の高齢者の方の暮らしに追い打ちをかけ
る年金の引き下げを中止させるように国
に対して要望してほしいと思っています。
(傍聴記にならないかも知れませんが)



石田 みどりさん
(都呂々)

住居を大阪から移して二年
半、二回目の町議会の傍聴で
す。

九月定例議会の二日目とあ
り、傍聴席もまばら。各議員
さんの質問の中で身近に感じ
たのは鱒泉の湯の改築でし
た。

工事期間は今年十二月か
ら三月までの四ヶ月、閉館は
二ヶ月との提案に、工事期間
や閉館期間の短縮の質問等出
されました。苓北町の八千人
を切った人口減、少子化対策、
地元の基幹産業の発展、町お
こし等どうにかならないもの
でしょうか。心を痛めている
町民の一人として、今後も時
間の許す限り傍聴したいと思
います。傍聴者への資料をも
う少し具体的な物には出来な
いものでしょうか。



三好 重信さん
(富岡)

J A ileyいほく女性部の年間活動計画
の一環として、九月六日、女性部員と一
緒に初めて苓北町議会の傍聴しました。

今回の議事は補正予算の審議で本日
が二日目の開催となりました。定
刻と成り議長より開会の宣言があり、
議会が始まりました。審議に入ると各

議員より議事に対して質問があり、そ
れに対して各担当課長、町長より答弁
また説明があり緊迫した雰囲気包ま
れていました。議事の中に中学生を持
つ親として感心のある中学校統合問題
で校名の決定が審議され「苓北中学校」
に決定しました。また補正予算の審議
についても、各議員と町執行部とが真摯
に議論を交わしておられる姿を見てい
ると「町民の代表」と認識されておら
れると良くわかりました。今後も苓北
町執行部と議員の皆さんが活発で活力
ある議会討論を交わされ住み良い「苓
北町」を作ってほしいと願います。



野田 謙二 議員

アベノミクスで苓北町の 経済を引っ張っていく産業は?

問

アベノミクス政策で
は、日銀も含めて、二
十年あまりのデフレ経済から
の脱却を図ろうとしている。
それは株価や円価格などに
いて将来の日本経済の姿を反
映させている。

そのアベノミクス政策の一
環で苓北町にも二十数億円の
補正予算が三月議会で提案さ
れた。しかしこれらの数値は
一時的なものであり、本来の
デフレ解消、日本経済の復興
へ繋がるものでなければなら
ない。

アベノミクスの成功で近い
将来の苓北町ではどのような
産業が苓北町経済を引っ張っ
ていくと考えているのか?も
しくは苓北町の現状からはア
ベノミクス政策では可もなく
不可もなく、なのか?

町長

これまでは二十年以
上も何も出来なかった
のが現実だった。結果として
国家経済への関与という批判
を恐れていたのが実情だ。

やるならとことんやれよ
安倍という期待もしている。
4月4日の黒田総裁就任で、
円高株安に何も出来なかった
日銀が、それまで経験してい
ない大胆な金融政策すること
で円安株高へと道をつけた。
これからも頑張りたい。

私は、苓北町民でプラスに
なったのは、まずは年金だと
思う。厚生年金が十兆三千億
の黒字であり、国民年金も七
千二百億の黒字を上げてい
る。合わせて十一兆もの黒字
が出ており、過去最高の運用
益が出ている。今後、我が国
の企業は、下がることも出
てくるが、これからの東京オ
リンピック開幕でさらに期待
が持てる。

加えて我が町の基幹産業で
ある農業・漁業においても、
物価の上昇もあり、頑張っ
ていけば必然的に収益が上がっ
てくると思われる。これで将
来の収益が良い方向に向かう

再質問

アベノミクスでは、
今後中小企業支援とし
ての様々な財政出動を考えて
いると聞いている。

具体的な政策はまだだが、
気をつけて、苓北町の産業に
見合った支援をお願いした
い。

町長

あやまらなければな
らないのは、税収が少
ないのに国家公務員の収益は
保証されていた。地方への補
助金も加えて赤字国債で税収
が足りない分を補っていた訳
だ。しかしその中で地方への
補助金が減らされ苓北町の職
員や議員には申し訳ないけど
少ない額で頑張っていただ
い。

これからは国家の収益が増
え、赤字国債を出す心配が無
くなるわけだから、十分な収
益を見越した助成ができる。